



「知覧へ」あらすじ

昨年は終戦七十五回目の節目を迎えました。「知覧へ」は戦争劇でも反戦劇でもございません。戦争を背景として、生き残った負い目を一生背負いながらも、健気に逞しく情愛をもって生き抜く、特攻隊生き残りの男の戦後史の物語。風化させてはならない日本人の心の傷痕を感銘深く描きます。当時、幾つもの若く尊い命が重い爆弾を抱えて飛び立った。そんな数々の命を見つめ続けた女将は若者達から「知覧の母」と慕われた。ホテルになって帰ると約束した少年。遺書で初めて「お母さん」と呼んだ若者。そして日本人の許婚者を残して飛び立った韓国人の特攻隊員。しかし役目を果たせず断腸の想いで帰ってくる男もあった……。

激動の昭和が終わわり、香川正三にとつての長い戦後も、ようやく終わったのかも知れない。いや、特攻隊の生き残りとして最後の役目を果たさなければ……「アリラン」を歌って出撃した金山少尉の形見を、韓国の遺族に届けなければ……。

「殺陣 春夏秋冬」

若獅子会の母校、新国劇には、創立者澤田正二郎先生立案による立ち回りの一幕物『殺陣 田村』がございました。素踊りの如く紋付・袴姿で、謡曲「田村」をモチーフとし和楽奏の調べで殺陣の形を演じるもので、構え、足運び等の美しさが要求され、爾来、島田正吾・辰巳柳太郎両先生始め、新国劇の先輩諸氏に引き継がれ、研鑽を重ねながら新国劇の貴重な財産演目にまで高められました。此度の『殺陣 春夏秋冬』は、「新・田村」でございます。

＜安心してご観劇頂くために＞

若獅子会は、新型コロナウイルス感染拡大予防のために出来る限りの対策をし、お客様第一で公演に臨みます。
●常にマスクの着用をお願いいたします●非接触型体温計による検温をさせていただきます、37.5℃以上の場合ご入場をお断りいたします●ご入場時、当方で用意致しますアルコール消毒液で必ず手指消毒をお願いいたします 若獅子会

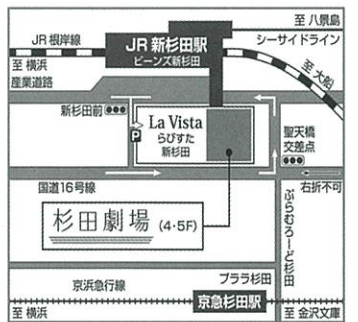
舞台監督／藤森條次 音楽／園田容子 照明／中島隆一 音響／小座間崇 スチール写真／前田美和
殺陣／若獅子剣求会 主催／若獅子会

6月「知覧へ」「殺陣春夏秋冬」公演予定

2日(水)	12時	横浜	磯子区民文化センター 杉田劇場
3日(木)	11時30分	名古屋	守山文化小劇場
4日(金)	1時	大阪	ドーンセンター
5日(土)	12時30分	兵庫	明石市立市民会館 中ホール
10日(木)	4時	東京	深川江戸資料館
11日(金)	12時 / 4時		
12日(土)	12時 / 4時		
13日(日)	12時		
16日(水)	2時 / 6時30分	山形	鶴岡市中央公民館

日程に変更がある場合はご了承ください

- JR根岸線・シーサイドライン「新杉田駅」下車、徒歩3分。ビーンズ新杉田2階を抜け歩道橋を渡り、らびすた新杉田へ。入口左手のエレベーターで4階へ。
- 京浜急行「杉田駅」下車、徒歩5分。がらむろーど杉田商店街を抜け、らびすた新杉田1階へ。エスカレーターを乗り継ぎ4階へ。



杉田劇場 磯子区杉田1-1-1

若獅子プロデュース公演〈次回公演〉

＜おおさかバージョンIV＞
あべのハルカス
近鉄アート館
10月15日(金)～17日(日)

時代吉二郎 他

11月25日(木)～29日(月)
劇場 東京・两国 シアターX

北條秀司 作・演出

坂田三吉の生涯

吹けば飛ぶような
将棋の駒に
命を懸けた
男の一代記

芳本美代子

笠原章 (坂田三吉)

目明し金次郎
マヒル
真鳳の
決闘

男には
護らなければ
ならない
人がある

笠原章